

ちゅうるい学園だより

学園目標『新しいつながり』

◎目指す生徒像

自ら学ぶ子ども

チャレンジする子ども

思いやりのある子ども

ふるさとを愛する子ども

忠類小学校

忠類中学校

令和7年10月1日発行

地域とともに… 地域の教育資源に支えられている活動を紹介します。

小中一緒に… 小中学校の子どもたちが一緒に行う活動を紹介します。

6/3 花いっぱい運動

地域のボランティアと一緒に
小学校1～3年生と中学2年生が
花植え作業



9/4 シーニックカフェ学習

地域の魅力を探る学習で、そ
の良さ理解するために、カフェ体
験をさせていただきました。



6/17 小中合同体力テスト

小学校4～6年生と中学生が一緒に
シャトルランに挑戦。互いに声援
を送って限界にチャレンジ！



7/15 中学校 ゆり根学習

特産物であるゆり根について学習
を深めています。この日は農家さ
んから直接教えてもらいました。



今後の予定

10月 4日 (土)

10月18日 (土)

10月23日 (木)

10月28日 (火)

忠類中学校 文化祭

忠類小学校 学習発表会

忠類中2年生 忠類各事業所にて職業体験学習

忠類小学校6年生 中学校1日体験入学

学校運営協議会より

9/22 (月) 3回目の学校運営協議会(鳥毛浄生会長)を行いました。各学校からの活動報告の後、これから子どもたちのために「持続可能な教育活動」「小中学校に期待すること」に2点について熟議を行いました。

委員の方々から出た多くの意見を参考に、1歩ずつ実現を目指していきます。

熟議の柱1：持続可能な教育活動について

- ・生徒が、地域で手軽にできるボランティア活動があるとよい。ボランティアが地域と子どもたちを繋ぎ、地域が活性化する側面がある。生徒が自主的な参加できるような仕組みづくりが必要。
- ・地域の高齢者との関わりをもつ活動や福祉活動への理解を深める学習が必要ではないか。
- ・忠類には学園として合同で活動するやりやすさがある。付けたい力を明確にして、教育課程に位置付けていく必要がある。

熟議の柱2：小中学校に期待すること

- ・児童生徒数が減少する中、継続可能な活動はたくさんある。地域の行事(そり大会、盆踊り、ナウマン太鼓)にも積極的に参加してほしい。
- ・知識偏重の学びで社会を生き抜くことは難しい。コミュニケーション能力を育てるためにも、学園(大勢)の中で活動し、自信をつけさせてあげたい。
- ・少人数の強みは十分に感じられている。逆に「少人数だからできない」ことのハンデがないよう様々な経験を積んでたくましく育てほしい。
- ・様々な活動をどのように発信するか。広く地域に発信する活動に期待する。



ちゅうるい学園アンケート

No	対象	評価項目	児童生徒 平均		保護者 平均		教職員 平均	
			小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
1	生徒	授業では自分で深く考え、意欲的に取り組んでいる。						
	保護者	お子さんは、学習に対して意欲的に取り組んでいる。	3.2	3.4	2.8	2.9	3.1	3.5
	教職員	学校は、子どもの考えを引き出し、ICTを活用したわかりやすい授業を行っている。						
2	生徒	学んだことを日常の生活に生かすことができている。						
	保護者	お子さんは、学んだことを日常の生活に生かすことができている。	3.1	3.2	3.1	3.1	3.4	3.3
	教職員	学校は、既習事項を生かし、工夫しながら生活できるように指導している。						
3	生徒	「いじめをしない、させない」ように気をつけ、優しい気持ちで仲間と過ごしている。						
	保護者	「いじめをしない、させない」ように、家庭でお子さんと対話し、思いやる心を育てている。	3.8	3.9	3.7	3.5	3.6	3.7
	教職員	学校は、「いじめを生まない」思いやりや優しさなど、心を育む指導を行っている。						
4	生徒	礼儀正しく自ら進んであいさつや返事ができる。						
	保護者	お子さんは、礼儀正しく自ら進んであいさつや返事ができる。	3.4	3.5	3.1	3.3	3.5	3.8
	教職員	学校は、自ら進んであいさつや返事など、礼儀正しく感謝の気持ちが持てるように指導している。						
5	生徒	起床・就寝・学習時間など、毎日規則正しい生活ができる。						
	保護者	お子さんは、毎日規則正しい生活ができている。	3.1	2.8	3.2	2.9	3.4	3.4
	教職員	学校は、規則正しい生活習慣を身につけられるように指導している。						
6	生徒	学校や自宅において、自ら進んで積極的に体を動かしたり、運動したりしている。						
	保護者	お子さんは、学校や自宅において、自ら進んで積極的に体を動かしたり、運動したりしている。	3.6	3.1	3.2	2.9	3.5	2.9
	教職員	学校は、進んで体を動かす運動習慣を身につけさせている。						
7	生徒	将来の夢や目標に向かって努力している。						
	保護者	お子さんが将来の夢や目標に向かって努力し、地域社会に貢献できるように家庭で対話している。	3.3	2.9	2.7	2.9	3.4	3.2
	教職員	学校は、生徒によりそい将来の夢や目標が実現し、地域社会に貢献できる生徒を育てている。						
8	生徒	自分やふるさとを愛し、家族や仲間を大切にしている。						
	保護者	お子さんは、自分やふるさとを愛し、家族や仲間を大切にしている。	3.8	3.7	3.7	3.3	3.5	3.6
	教職員	学校は、自己肯定感や自己有用感を育み、ふるさとを愛する生徒を育てている。						

成果と課題の分析

◎小中学校ともに「いじめ防止」「ふるさとへの愛着」に関する項目で高い評価となりました。思いやるをはぐくむ指導、地域に根差した教育活動を通じて自己肯定感が育まれていることがうかがえます。地域の支援と協力で本学園が目指す生徒像「思いやりの心」「ふるさとを愛する」について大きな成果を上げています。

●「自ら学ぶ」学習意欲についての項目では、児童・生徒の評価に対して保護者の評価が低い健康が見られます。学校でのICTの活用や授業改善が家庭での学習姿勢十分結びついていない可能性があり、家庭との連携が必要です。

●「将来の夢や目標」についての項目では小・中学校ともに評価が低くなっています。「こども将来に関わる対話の促進」がポイントと考えています。キャリア教育の充実に加え、家庭での対話きっかけを学校がどのように提供するかが重要な課題と考えます。

共に学ぶ教職員

・・・小中学校の先生方は合同で様々な研修を行い、高め合っています。

7/27 小中合同研修会

- ①スクールカウンセラーによる
子どものメンタルヘルス
- ②忠類消防によるAED実技講習



9/3 中学校教諭（体育）による 小学校実技研修（マット運動・跳び箱）



11/26（水）には忠類中学校で
「ちゅうるい学園実践交流会」を実施します。
授業力向上を目指した研修会です。



毎月19日は
「まくべつ教育の日」
学校に足を運んでください！
お待ちしております。